

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
97 1		国際交流推進事業(多文化共生事業)	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	項	01	総務管理費
策			目	07	文化振興費
1		多文化共生社会の構築	細目	102	国際交流推進事業
			細々目	01	国際交流推進事業
基本計画該当頁		188	行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	040200	評価者氏名	澤田 洋子	連絡先
	名称	企画振興部文化国際課			22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市内在住の言葉の壁を持つ外国人 在住外国人とコミュニケーションを図りたい日本人のために 多文化をテーマにいたイベントや多文化理解講座を開催。 (対象件数)	言葉の壁等の障害が確認され、軽減される。 共通の問題として把握し、悩みを解決することで、在住外国人が 安心して生活できる。共通する自治会等の問題として把握し、解 決することで在住外国人と日本人とのトラブルが減る。 在住外国人の問題を把握し、市政に反映することができる
根拠法令・要綱等 伊賀市外国人住民協議会設置要綱		
開始年度	平成 年度	関連事業 三重県国際化推進指針(平成19年3月策定)
終了年度	平成 年度	
本年度事業内容	通常業務として文化国際課内にて多言語での生活相談実施。 本庁舎玄関ロビー及び市内大型店舗にて在住外国人への生 活オリエンテーション及び多言語生活相談実施。 伊賀市外国人住民協議会を5回開催した。	状況変化等 平成19年度から各支所ロビーにおいても多文化生活 相談を実施するようになった。 三重県市町職員多文化共生のためのワーキング設置 (情報共有ネットワーク)

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
多文化共生相談の実施(年/回)	回数	目標 実績 24	目標 実績 30 27	35	40
多言語広報誌の配布(月/部)	部数	目標 実績 890	目標 実績 1000 1000	1100	1200
多言語広報誌の設置箇所数	箇所	目標 実績 不明	目標 実績 30 45	50	55

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
オリエンテーション・相談者数	事業内容の周知徹底を図り、来訪者を増や す	人	目標 実績 402	目標 実績 500 727	750	800

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	言葉の問題、文化や生活習慣などの違いから、ごみ出し等近隣住民とのトラブルが増加傾向にある。
有効性	3	多文化共生相談の広報活動を行ったことにより、相談日に在住外国人の来訪者が増え、また関心のある日本人市民からの問い合わせが増えた。
達成度	3	ほぼ計画どおりに達成できた。
効率性	4	生活オリエンテーションにおいては、(財)三重県国際交流財団との協働事業であったため、財団から職員2名の派遣があり、人件費は掛かっていない。 平成19年度からは、NPO団体へ委託し、NPO団体、伊賀市国際交流協会と市の協働で実施している。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	次年度より民間・NPO団体との更なる連携を図り、協働事業として専門的なノウハウを取り入れる。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容				
		事業内容	数量	単価	金額	事業内容	数量	単価	金額	事業内容	数量	単価	金額	事業内容	数量	単価	金額	事業内容	数量	単価	金額
委託	事業内容	報酬			214	報酬			1,143	報酬			1,761	報酬			1,761	報酬			1,761
旅費		124			130	共済費			195	共済費			195	共済費			195	共済費			195
筆耕翻訳料		15			336	報酬			360	報酬			480	報酬			516	報酬			480
負担金		62			156	旅費			47	旅費			156	旅費			156	旅費			156
その他		163			18	筆耕翻訳料			10	筆耕翻訳料			30	筆耕翻訳料			30	筆耕翻訳料			30
進捗率(%)																					
事業投入人員		人件費(B)	0.8	人	5,760	人件費(B)	0.8	人	5,760	人件費(B)	0.8	人	5,760	人件費(B)	0.8	人	5,760	人件費(B)	0.8	人	5,760
フルコスト(A)+(B)					6,338				7,799				8,255				8,554				8,554

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	578	2,039	2,495	2,794	2,830	2,794
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他	11	22	17	17	17	17
一般財源	567	2,017	2,478	2,777	2,813	2,777
計	578	2,039	2,495	2,794	2,830	2,794
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	国際交流基金利子 11千円	国際交流基金利子 22千円	国際交流基金利子 17千円	国際交流基金利子 17千円	国際交流基金利子 17千円